

令和7年8月18日

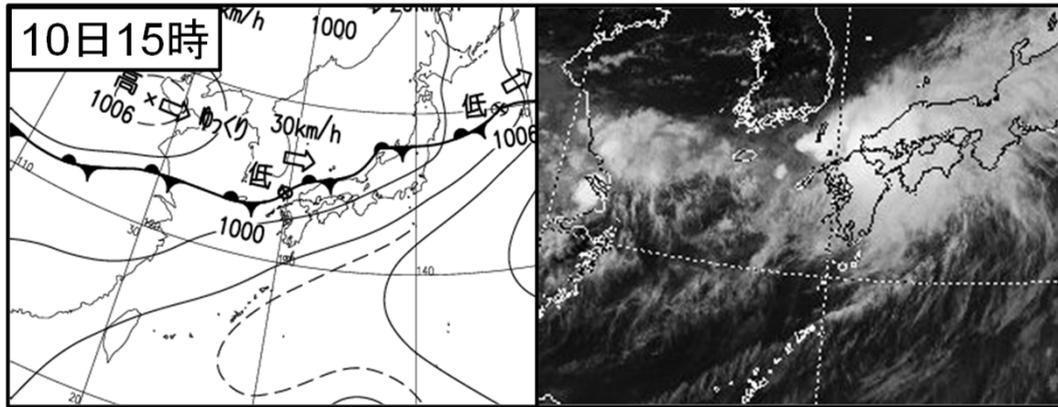
8月9日から12日の降雨による佐波川の出水について を掲載しました

- 令和7年の8月9日から12日にかけて、前線の影響により山口県内は8月の平年の月降水量を上回る記録的な大雨となりました。（資料P 1 参照）
- 今回の出水は佐波川流域で大きな被害が発生した平成21年7月出水を上回る規模の雨量を記録しましたが、これまでの治水事業などの進捗もあり、浸水被害は発生しませんでした。（資料P 2 参照）

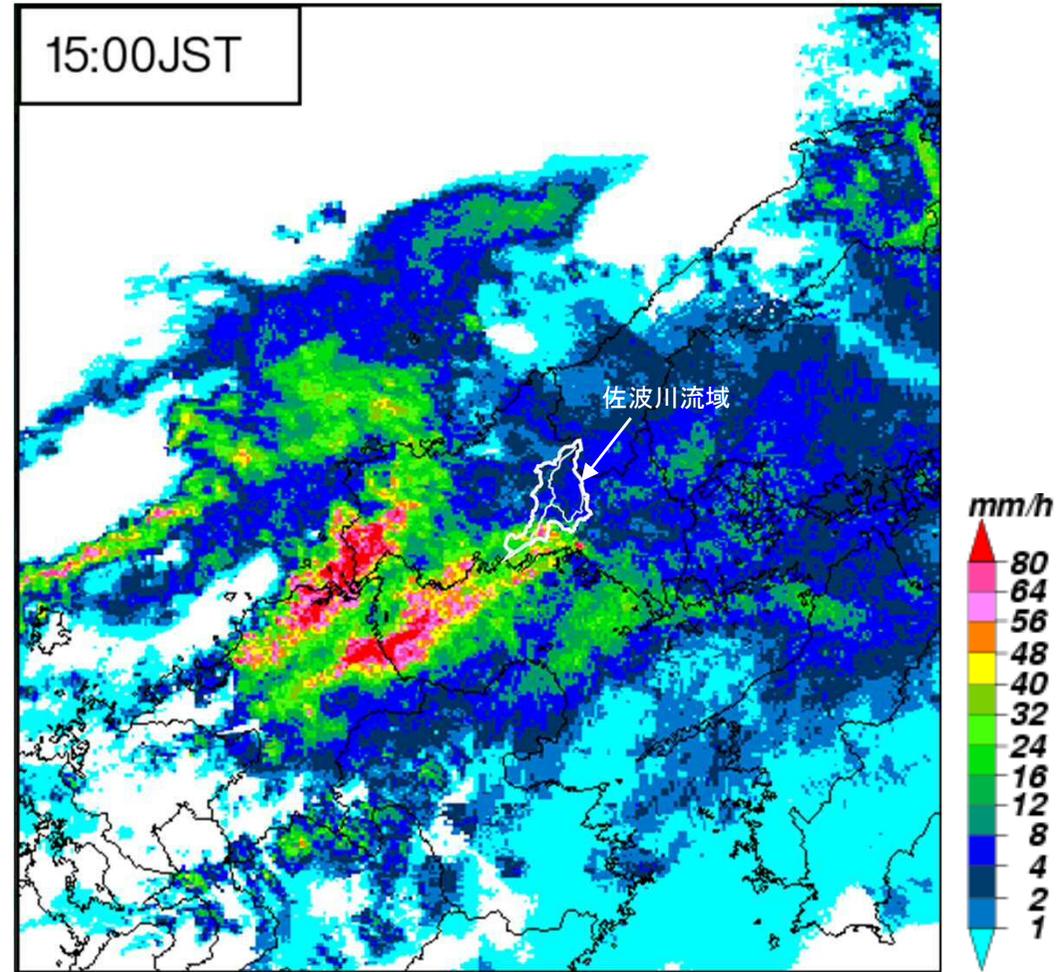
気象概要(令和7年8月9日～12日出水)

速報版

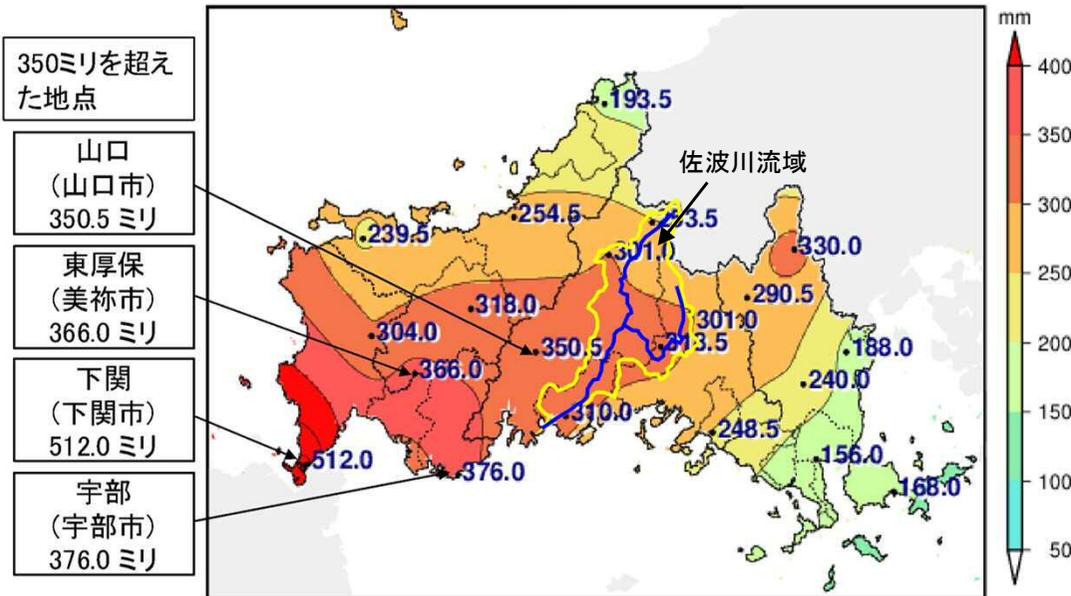
- 8月9日から12日にかけて、前線が対馬海峡から九州付近に停滞し、前線に向かって中国大陸や太平洋高気圧周辺からの暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、山口県では大気の状態が非常に不安定となった。
- 山口県内は8月の平年の月降水量を上回る記録的な大雨となった。
- 10日は前線上の低気圧の通過時に線状降水帯が発生し、山口県西部に「顕著な大雨に関する気象情報」を発表した。
- この一連の雨で、9日から12日までの総降水量は、下関（下関市）で512.0ミリ、宇部（宇部市）で376.0ミリ、東厚保（美祢市）で366.0ミリ、山口（山口市）で350.5ミリ、羅漢山（岩国市）で331.5ミリを観測した。また、下関（下関市）では、月最大24時間降水量366.0ミリ、宇部（宇部市）では、日最大降水量280.5ミリを観測し、観測史上1位の記録を更新した。



天気図及び気象衛星画像（8月10日15時）
※山口県で降雨強度が高い時間を記載



気象レーダー画像(8月10日15時)
※山口県で降雨強度が高い時間を記載

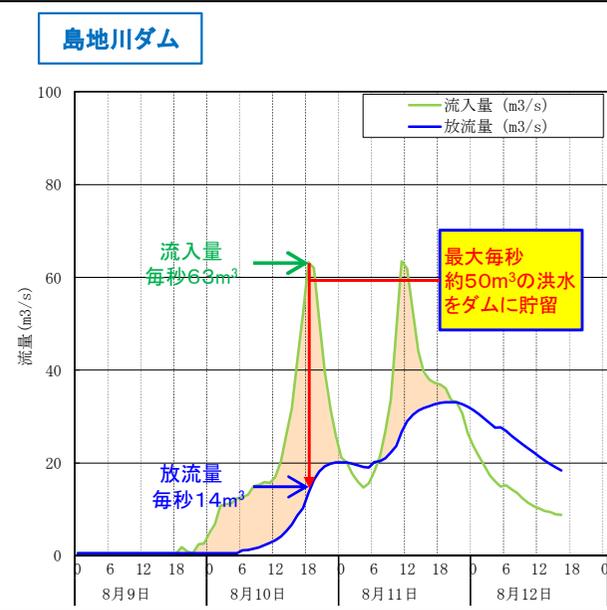
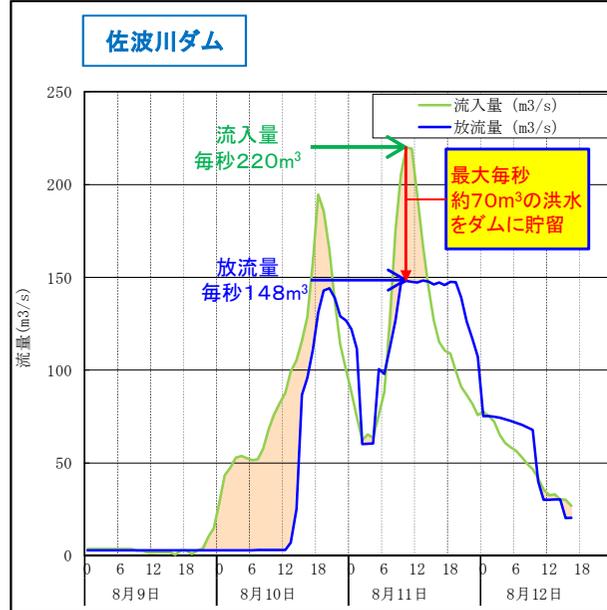


アメダス総降水量の分布図(8月9日12時～8月12日24時)

ダムの洪水調節や河川改修による治水効果(佐波川水系佐波川)

速報版

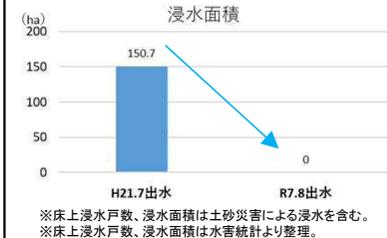
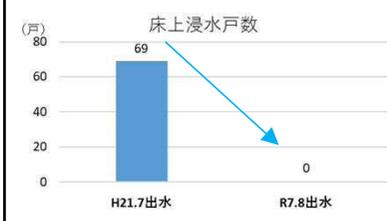
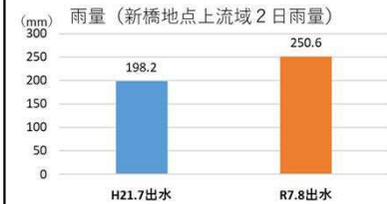
- 佐波川流域では、令和7年8月9日夜から11日夜にかけて大雨となり、新橋地点上流域の2日雨量が250.6mmと平成21年7月出水の約1.3倍の雨量が観測された。
- 佐波川流域では「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」や「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」による河道掘削を実施してきたこと、島地川ダム（国）及び佐波川ダム（山口県）による洪水調節を実施したことにより、9k000（防府市上右田地先）付近において約0.6mの水位低減効果発揮した。
- 今回の出水では、平成21年7月出水を上回る規模の雨量（速報値）である。平成21年7月出水においては佐波川流域で河川氾濫等による浸水被害が発生したが、これまでの治水事業により浸水被害を大幅に軽減した。



平成21年7月中国・九州北部豪雨により、佐波川流域のいたるところで河川が氾濫し、浸水被害が発生。また、防府市を中心に山口県内各地で土砂災害が多発。



平成21年7月の被害状況（防府市下右田） 剣川2号堰堤 H24.7月完成



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

水位低減効果



今回の出水の様子(新橋地点)
令和7年8月11日13時00分頃



上右田地区整備状況(9k000付近)

